

# 相談室だより(2008年6月)

担当：米の山病院 MSW 奥苑

いよいよ本格的な雨のシーズンがやってきました。みなさんいかがお過ごしでしょうか？ すっきりとしない天気気分も沈みがちですが、気合一発頑張っていきましょう。今回の相談室だよりは診療所から入院された患者様の事例を報告したいと思います。よくある経済的相談から意外な方向へと進んでしまったこの事例、問題の本質はどこにあったのでしょうか？

5月末頃、法人内診療所の事務長より「経済的困窮状態にある患者様が入院予定となったので、入院中の対応及び今後の援助をお願いしたい」と相談がありました。

(情報の概要)

67歳男性。妻及び長男と3人暮らし。本人は脳梗塞後遺症あり身体障害者手帳3級を所持。かつ要介護2でデイケアを利用している。肺炎を発症されているため、入院治療を勧めたが経済的理由で入院拒否。本人は年金受給しているか不明だが、妻は養鶏場勤務しており給与所得がある。やや理解力に難ありと感じている。長男は失職のため数ヶ月前に戻ってきていたが、最近運送業に就職した。数日前に物損事故を起こし入院中。

情報が不足する中ではありましたが、まずは収支状況を正確に把握するために入院日に面接を行うこと及び身体障害者手帳の等級変更が可能な状況にあるか判断を行う事、後期高齢者医療制度への移行を検討する事として、入院日を待つことにしました。

入院日当日、病室で本人及び妻と面接を行いました。思いのほか本人はお元気でしたが、嘔声で少し疲れた様子も見受けられたため妻より情報を得る事としました。収入は本人の基礎年金と妻の給与所得があり、生活を行う上で大きな支障が出るほどの低収入であるとは考えられませんでした。妻の主訴は経済的に非常に苦しいというものでした。即効性のある対応としては後期高齢者医療制度への移行が有効と考えられたため制度に関する説明を行いました(この際老人医療の早期適応について確認しましたが全く分からないということでした)。また手続き上必要な保険証などの確認

を依頼した所持参されておらず、妻の勤務の都合上休みも取れないということだったので自宅訪問行ない、町役場にて手続きを行う事としました。

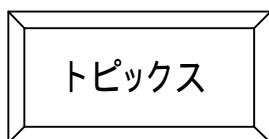
自宅にて身体障害者手帳(肢体不自由3級)を確認しましたが、国民健康保険証は長男の勤務先に預けているので手元にはないということでした。その他自身の政府管掌保険被保険者証と本人の被扶養者証を提示されました。なぜ社会保険の被扶養者証があるのか妻へ確認すると、数年前に脳梗塞を発症された際に知人の勧めで扶養手続きを取ったということでした。その後「この保険証は使わないから神棚にあげていた」というのです(この発言で妻の理解力には問題があると確信しました)。当初の目的からは外れてしまいますがとりあえず保険状態を正常に戻すため町役場に相談を行なうことにしました。事の詳細を説明し、どのような対応が検討できるか相談しましたが、国保課としては社会保険加入された時点で遡り資格喪失手続きを行うしかないこと、それまでに請求されている医療費に関しては社会保険へ請求をし直すこと、遡及請求ができない期間については「自己責任」のもと本人へ請求するしかないという返答でした。経済相談から発覚した問題であり、何とか本人世帯の負担にならないような方法を検討出来ないかと相談しましたが、可能性としては社会保険加入を取り消すことができれば現状のまま変化なく対応が可能という事でした。当日は金曜日で時間も17:00を過ぎていたため週明けに社会保険事務所に相談を行なう事として、後期高齢者医療制度への移行手続きのみを行い当日対応を終了しました。

翌週月曜日に妻が仕事の休みが取れたので早速社会保険事務所へ出かけました。道中、これまでの生活状況を色々と話されていましたが、経済(支出)状況の詳細に関しては具体的な話は避けられているようでした。社会保険事務所での協議内容については少し割愛させていただきますが、結果扶養手続きを加入日に遡って取り消しを行うことができるよう手続きを行うことにしました。妻の理解力及び処理能力では手続きの完遂が心もとなく、妻の職場にも同行させていただきました。職場担当者へ事の概要を説明し、書類作成及

び被扶養者証の返還手続きを行ないました。就業中の様子なども尋ねてみましたが、特に問題があると感じたことはないという返答でした。その後、町役場へ経過報告を行うとともに、気になる方として対応に注意していただきたい旨を依頼し、危機介入を終了しました。町役場及び社会保険事務所担当者へこのようなケースはよくあるのか尋ねたところ、どちらからも非常に稀なケースという返答が返ってきました。

もしかしたら「気付いていないだけで複数の保険に加入されている人がいるのかもしれない」という事実には驚くとともに、行政機関でもその事実気付くことができないというシステムに疑問を感じました。確かに手続きを行っていないことは「個人責任」と言われても仕方がないことなのかもしれませんが、こうした誤りを正すことが出来るようなシステムを構築することは行政上の責任でもあると思います。このケースでは、経済的負担の大きな要因が「本人が訪問販売などで物を購入するために支払いが多くなっていること」であることが明確になりました。より詳細に情報を確認すると、数回は振込みを行なおうとしている最中に郵便局員に事情を尋ねられ、クーリングオフを紹介され難を逃れたこともあると言います。妻は、勤務中で知らないうちに本人が契約しているためどうしてもないと半ばあきらめているようでした。

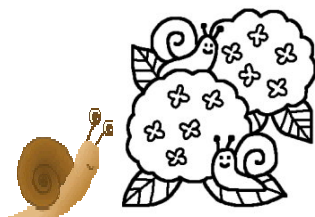
この状況を改善するため、妻へ成年後見人制度の説明を行ないましたが、制度そのものや手続きに関してはあまり理解されていないようでした。幸い、事故にあわれた長男様が自宅療養中であつたため、長男様にも状況を説明し協力をお願いすることにしました。現在も継続援助を行っています。



## トピックス

### 岩手・宮城内陸地震

6月14日、震度6強、マグニチュード7.2（推定）という大きな地震が発生しました。時間の経過とともに被害状況が明確になってきていますが、いまだ行方不明者の捜索活動が続いている状況です。頼みの綱であつたはずの災害情報システムもうまく機能しなかつたようですし、被災者のコメントではパニックに陥り何もできなかったというものもありました。デッドラインと言われている72時間が刻々と近づいています。



梅雨時期の地震災害ということで二次災害が懸念される中ではありますが、被災者のご冥福を祈るとともに、行方不明者の一刻も早い救助を願ってやみません。

### 秋葉原…

6月8日、オタクの聖地秋葉原で「歩行者天国にトラックで突っ込み、その後刃物で凶行に及ぶ」という通り魔事件が発生しました。容疑者の身勝手な思い込みから何の罪もない大勢の命が奪われました。最近の凶悪犯罪では「誰でも良かった」という容疑者の言葉を耳にしますが、誰にも他人の人生を奪う権利はありません。心が病んでいる…、そう思わずにはいられません。私達も知らず知らずの内に心が病んできてはいないでしょうか？他人を思いやる気持ちが薄れてきてはいないでしょうか？今一度自分自身に問いかけてみましょう。そして小さなことでいいので他人に優しくしてみましょう。きっとあなた自身が豊かになっていくはずですよ。被害者のご冥福及びご家族の心の回復を心よりお祈りいたします。

### プロ野球（興味のない方はすいません）

先日、プロ野球の試合観戦に出かけました。昨シーズンは観戦した試合の勝率はあまり良くなかったのですが、今シーズンは観戦した試合の勝率10割という状況が続いています（ちなみにまだ2試合ですが…）。これに味をしめて来月22日の「鷹の祭典」チケットを購入してしまいました。ここでも勝利するようであれば「ひょっとして僕のおかげ…」などと勘違いしてしまいそうです。ちなみに今日（6月16日）現在では交流戦単独首位！残り試合数を考えても交流戦優勝が射程圏内に入ってきました。そしてこのままシーズン優勝から日本一へ！そんな夢を見ている今日この頃です。

### 物価の値上がり…

5月に続きガソリンの値段が高騰しています。6月は少し落ち着いているようですが、7月には再び値上げという動きがあるようです。原油高の影響と言えばそれまでですが、石油製品関連の商品も軒並み値上がりしています。また代替燃料としてバイオ燃料が注目されていますが、原材料の値上がりから一般食料品なども値上がりを始めています。生活必需品なので購入を控えるわけにもいかず、収入はほとんど増えていないのに、支出は右肩あがりの状況です。この先どうなっていくのでしょうか？